

教科目名 情報処理 (Information processing)

学科名・学年 : 機械工学科 2年

単位数など : 必修 1単位 (後期 1 コマ , 学習保証時間 22.5 時間)

担当教員 : 徳安達士

授業の概要			
情報処理 , では , プログラミングの基礎とも言える C 言語を学び , 数学や物理などの基本的な数値計算を通して , 実用的なプログラミング能力を身に付ける . 特に情報処理 では , データ入出力や制御構造文など , 情報処理においては重要な知識と技術を身につける .			
達成目標と評価方法		大分高専目標(B2)	
(1) プログラムファイルの作成・保存 , コンパイル , 実行の方法について理解できる . (定期試験と課題演習)			
(2) C 言語プログラミングにおける基本的知識を身に付ける . (定期試験と課題演習)			
(3) 条件文や繰り返し文などの制御構造文の使い方を身に付ける . (定期試験と課題演習)			
(4) 目的に応じた適切なプログラムの作成能力を身に付ける . (定期試験と課題演習)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	情報処理ガイダンス	<p>情報とは何か? ガイダンスを通して情報の概念について理解する .</p> <p>printf 関数 , scanf 関数を理解する</p> <p>整数型 , 実数型 , 倍精度実数型変数について理解する .</p> <p>入力した数値に対して平方根や対数計算を行う .</p> <p>条件式を立て , 真偽の成立について理解する .</p>	【理解の度合い】
2	コンピュータ導入とファイル		
3	データの型と変数の宣言		
4	文字と数値データの入出力		
5	複雑な数式計算の記述方法		
6	演算子と論理演算子		
7	条件文		
8	後期中間試験		【試験の点数】 点
9	後期中間試験の解答と解説	自身の理解力を分析し , 理解していなかった部分を認識し , 理解する .	【理解の度合い】
10	繰り返し for 文	<p>for 文と while 文などの繰り返し制御構造の基本と応用力を身に付ける .</p> <p>無限ループ作成方法と脱出のメカニズムについて理解する .</p> <p>配列の意味について理解する .</p> <p>文字型多次元配列について理解する .</p>	
11	繰り返し while 文		
12	多重ループ		
13	配列		
14	多次元配列		
15	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	授業で習った内容は翌週までに必ず復習しておくこと . 授業のたびに , 新しいプログラミング技術が導入されるので , わからないところは翌週に持ち越さない . 演習には積極的に取り組み , わからないところはわかるまで質問しましょう .		【総合達成度】
教科書	柴田望洋 , 新版 明解 C 言語 入門編 ソフトバンククリエイティブ株式会社		
参考図書	なし		
関連科目	情報処理 , 情報工学		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について , 2 回の試験と課題で評価する . 定期試験の成績(80%)およびレポート・課題の提出(20%)により評価する .		